茨城民医連NEWS・震災対策ニュース①合併号

No. 278
11/4/11 発行

東日本大震災支援募金　253,943 円（4/11 現在）

県連学術運動交流集会の日程が、6/5(日) に決定！

東日本大震災の影響で、４/１７に開催予定だった県連学術運動交流集会を延期していましたが、あらためて日程、場所が決まりました。各事業所とも大きな被害を受けましたが、困難な時だからこそ、県連がひとつになって日常の実践を振り返り前進したいと思います。準備と参加をお願い致します。

日時　2011 年６月５日(日)10:00～16:00　会場　茨城県開発公社ビル３Ｆ大会議室

テーマ　「過去から未来へ、そして現在」　民医連綱領の実践で未来にバトンを引き継ごう！

◇第１次宮城支援チーム報告会を開催！（城南病院・附属CL）

３/２８～３０までの３日間の第１次宮城支援チームの報告会が、４/５（火）に附属ＣＬの外来待合で行われました。参加し木村さん、関さん、山川さん、本郷さんが、それぞれの行動内容と感想を報告しました。

～木村冬樹さんの報告～

行動は地域訪問と避難所での医療支援、避難者の要求の聞き取りが中心でした。全戸訪問は、他県から支援に来ている方達とチームを組んで、がれきと汚泥で覆われた被災地域のお宅を一軒一軒訪問しました。

訪問の主たる目的は、①安否確認（具合が悪くなっていないか、常飲している薬が切れていないか等）、②不足物資の確認と提供（特に水、食料、マスク、軍手、タオル、ティッシュ）、③話を聞き、安心感をもってもらう、の３点です。

特徴的だったのは、高齢者世帯や要介護者をかかえている世帯、障害者、生活保護者、外国人など、「低所得」「買い物弱者」等が最も深刻な状況におかれているという点です。災害時には、平時にかかえている生活上の諸問題が「命に関わる問題」として深刻化するということです。継続的なフォローが必要です。

避難所では、医師・看護師・薬剤師が臨時の診療ブースを設置し、診療にあたります。その他、看護師は低体温症が懸念されるため血圧測定や体温測定を行います。また避難者一人ひとりに、体調、常飲している薬や困っていることなどを聞き取り、必要に応じて医療につなげたり、要望に応えたりします。しかし「洗濯がしたい」といっても水がない、「温かい物が食べたい」といっても材料やガスがない、家が流され今後の生活が全く見えない等々。また、メンタルの状況も深刻です。災害時は生と死が一瞬の判断で別れます。家族を失い「なぜ自分だけが生き残ったのか」と思い悩む、子どもが夜中にパニックを起こす、「『助けて』の声が耳から離れない」など多くの方が心に深い傷を負っていると推測されます。心理的なケアと「何でも相談できるコミュニティづくり」は長期にわたる課題となるでしょう。

救急医療が求められる段階は過ぎました。これからは、慢性期のケア、避難所で「寝たきり」のような状態にならないためのサポートが必要になってくると思われます。また、高齢者は、日常生活に多くの支障をかかえています。手厚い生活支援が必要となるのではないかと思います。

◇うららかな春の日差しの中、大震災支援バザーを開催!!（水戸共立診療所）

3/27 に予定していた「春まつり」が大震災の影響で中止になった水戸共立診療所では、4/7（月）に大震災支援バザーを開きました。春まつりのもちつきを楽しみにしていた方のために、職員が切り餅や野菜、干物、バザー品を沢山準備しました。

暖かな日差しの中を三々五々、地域のみなさんが集まってくれました。用意した切り餅は飛ぶように売れ、バザー品は「安くていいよ～」と職員が声をかけると「あら、それでは支援にならないから…」と言い値の倍で買ってくれる人もいました。この日の売上げ、23,589 円は全額支援募金にします。

◇長野から支援の「りんごジュース」が届く（城南病院医局へ）

職員の皆様へ　～信州から　坂巻正様～

このたびの東日本大震災により被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。
代々木病院などの民医連で事務職として三十年近く働き 2008 年 9 月、妻の故郷長野に移り住みました。
それからりんごの栽培にかかわり、不慣れながらも二回の収穫をいたしました。

日々農作業をするなか自然の厳しさをあらためて感じています。わずかな量ですがりんごジュースをお送りいたします。皆様の生活が早く安定し、地域が復興し笑顔で活躍されることを心よりお祈りいたします。

◇第2次宮城支援チーム…4/9～11 奮闘中！本日遅く（日付が変わってから）帰着の予定!

～関聡史さんを団長に、谷口優理子さん、山田早優子さん、益子哲也さん、秋葉昌則さん、関谷宣さん～

介護の秋葉さんと益子さんは「宮城野の里」で、他の皆さんは避難所、地域訪問で支援活動にがんばっています。

◇全日本民医連ルートの支援物資は締め切りとなりました。

各職場や事業所にある支援物資を法人に集中してください。水戸市内や近隣の市町村の避難所に届けるようにします。

各法人、事業所で支援者の組織をお願いします！！

＊避難所の高齢者を守る活動が必要となっています。その中で介護士・リハビリ技術者の支援ニーズが高まっています。

◇第3次宮城支援チーム・4/27(水)～29(金)で計画中

（予定者：佐藤・柴田・佐伯・リハビリ・共立…で検討中）

◇第4次宮城支援チーム・4/29(金)～5/1(日)予定

（予定者：加賀美Dr・金子・・・・）

＊4/25（月）～5/１（日）まで、現地対策本部に県連から中山が行きます。